

眼 科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事し、医師としての責任感、技能、思考、態度を学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につける。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、実践的な経験をする。
- 4) 担当する患者問題に対して、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用し、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを理解する。
- 5) 問題解決型の思考過程を身につける。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 基本的眼科検査（視力・視野検査）ができる。
- 2) 患者から得られた情報を基に、必要な検査、治療計画を選択できる。
- 3) 眼科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 4) 術前カンファレンスで担当患者の病態、治療方針、問題点などを説明できる。
- 5) 白内障手術の手順を理解し、手術助手を務めることができる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には相応しい態度、言葉遣いであること
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意すること。
- 4) 欠席の場合は医局に連絡をする。病欠の場合は、受診医療機関の診断書を医局へ提出する。
- 5) 実習で使用した診療情報に関する全ての資料は、院外への持ち出しを禁ずる。

【実習の内容】

- 1) 集合は、第1週の月曜日 8時40分に眼科病棟（10階東病棟）診察室に集合する。
- 2) 第1週の月曜日に研修グループ（網膜、角膜、緑内障、）、指導医を割り当てる。

実習期間中は各グループ予定に準じて研修する。

- 3) カルテ記載は、指導医と共に記載する。
- 4) 豚眼を用いた水晶体手術実習を適宜計画する。

実習開始前に教務担当者より実習内容について学生に通知し、必要に応じて相談に応じ

る。

【週間スケジュール（1～2週目）】

	午前	午後
月	9時～ (10階東病棟眼科診察室) 細隙灯顕微鏡・眼底実習	眼科外来 視力検査実習
火	関連病院実習	関連病院実習
水	指導医実習	左記に準ずる
木	指導医実習	17時00分 医局会 眼科医局
金	指導医実習	指導医研修

【週間スケジュール（3～4週目）】

	午前	午後
月	9時～ (10階東病棟眼科診察室)	指導医研修
火	指導医実習	左記に準ずる
水	指導医実習	左記に準ずる
木	指導医実習	17時00分 医局会 眼科医局
金	指導医実習	指導医研修

【評価】

6項目の到達目標が実習中にどの程度達成されたかを評価する。方法は、指導医による全体的な行動（パフォーマンス）の評価、教授回診での患者提示、カンファレンスでのプレゼンテーション、総括での積極性などによる総合評価である（配点は下表の通り）。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	20
カンファレンスでのプレゼンテーション	20
学生用カルテの内容	20
症例発表	20
総括での積極性	20